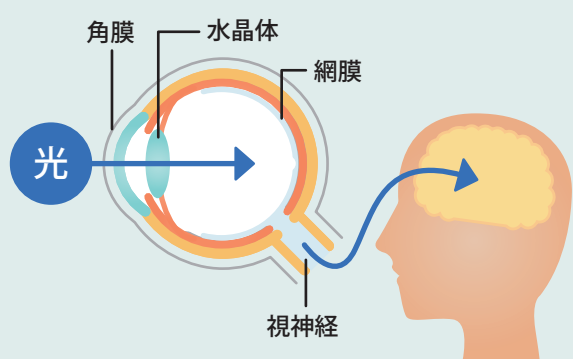


# “眼のはたらき”

眼のはたらきは「物を見る」ことです。身の回りの光が透明な角膜（黒目の部分）、カメラのレンズにあたる水晶体を通り、眼の内側にある網膜と呼ばれる神経に到達し、網膜がその信号を脳へと伝えることで物を見ることができるようになります。

ちなみに、水晶体が濁ると白内障となり視力が低下してしまいます。



## [特集] 加齢黄斑変性

- 診療科紹介 循環器内科
- 連携医療機関のご案内
- マスクの使い方
- 加齢黄斑変性の検査と治療について
- 次号予告

### 今号の特集

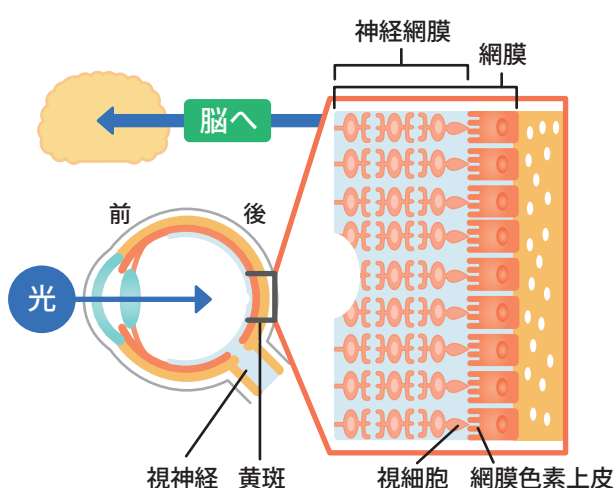
## 加齢黄斑変性

### 網膜のはたらき

網膜は「神経網膜」と「網膜色素上皮」の2つの組織で構成されています。それぞれ異なるはたらきを持つっており、「神経網膜」は光を受け取り脳に伝え、「網膜色素上皮」は栄養の供給、老廃物の処理など、「神経網膜」のメンテナンスを行っています。

### 加齢黄斑変性とは

身の回りの光が眼の中に入ることによって、私たちは物が見えるようになります。このため、暗闇では何も見えません。この光を受け取るのが網膜と呼ばれる神経で、この網膜の中央に「黄斑」と呼ばれる部分があります。「黄斑」は視界の中央の見え方を担当しており、明るい場所での見え方や色の識別を行う神経（錐体細胞）があるため、物を見るための最も重要な部分になります。眼の機能を評価する代表的な検査の一つに視力検査がありますが、これは「黄斑」の機能を評価しています。



川崎医科大学附属病院

眼科 医長

鎌尾 浩行

Kamao Hiroyuki

- 日本眼科学会眼科専門医
- PDT(眼科光線力学的療法)認定医
- 再生医療認定医



### 加齢黄斑変性の種類と原因

加齢黄斑変性には、「滲出型」と「萎縮型」の2つのタイプがあり、どちらも網膜色素上皮の機能が低下することで起こる病気と考えられています。原因としては、老化、人種、性別、疾患感受性遺伝子などの遺伝因子や光曝露、喫煙、食生活といった環境因子など様々なものが関係すると言われています。

#### 1 滲出型加齢黄斑変性

日本人を含むアジア人に多いタイプです。網膜色素上皮の機能が低下することで脈絡膜新生血管と呼ばれる異常な血管が生じ、この異常な血管が出血や浮腫を引き起こし神経網膜が障害されることで視力が低下します。このタイプは、突然見えにくくなり、進行が速く、様子を見てみると深刻な視力低下を残してしまうので、早急な治療が必要となります。

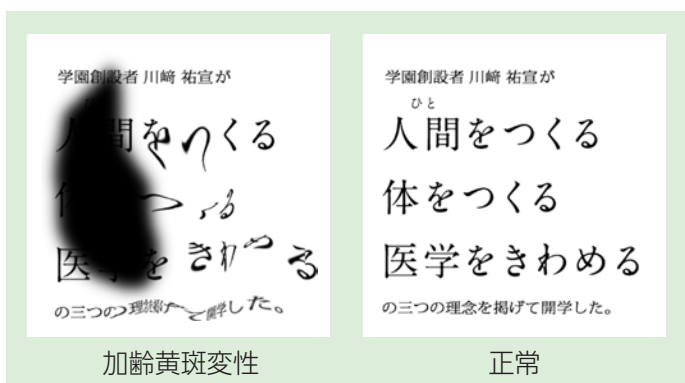
#### 2 萎縮型加齢黄斑変性

欧米人に多いタイプです。網膜色素上皮の機能が低下することで神経網膜のメンテナンスが十分でなくなり、神経網膜が障害されることで視力が低下します。このタイプは、進行が遅く、異常な部分が視界の中央に及ばない限り、深刻な視力低下になりません。ただし、萎縮型から滲出型に変化することもあるため、日頃から見え方をチェックすることが大切です。

### 自覚症状と見え方

視界の中央が歪んだり、暗く見えたり、見えない部分ができたりします。このような症状が出ると、見たい部分が見えにくくなるため、文字を読んだり、物を書いたり、また遠近感が失われることでスポーツなどをするのが難しくなります。更に症状が進行すると、視界の中央が見えなくなるため、顔を見分けることや、料理、運転ができなくなるなど、日常生活に大きな影響をおよぼします。

一方で眼は右眼と左眼の二つあるため、健康な眼が病気の眼の見え方を補うことで異変に気がつかないことや、病気の初期は眼の疲れや違和感といった軽い症状の場合があり、様子を見ているうちに病気が進行してしまうことがあります。このため、日頃から片眼をふさいで右眼と左眼のそれぞれの眼の見え方を自身でチェックすることが重要になります。



### 加齢黄斑変性チェックリスト

※必ず片眼ずつ見え方をチェックしてください

- |                          |                                                |
|--------------------------|------------------------------------------------|
| 左                        | 右                                              |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ぼやけて見える               |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 線が歪んで見える<br>(障子や車道など) |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 視界の中央に見えない部分がある       |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 視界の中央が暗い              |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 視界の中央の色が薄い            |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 片眼が小さく物が見える           |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 片眼を加齢黄斑変性と診断されたことがある  |

#### もし気になる所があったら...

チェックリストの項目に一つでもチェックがあれば、加齢黄斑変性を含む網膜の病気の可能性があるため、必ず眼科を受診してください。

### 診療科のご紹介

#### 循環器内科



循環器内科  
〈前列中央が上村部長〉

循環器内科は心臓、血管、血圧に関係する病気全般を診療しています。循環器病は高血圧、コレステロール、糖尿病、肥満、タバコなどの生活習慣に関係して起こってくることで多い病気ですので、予防としての生活の改善指導から、それぞれの病気の診断と治療まで幅広く対応しています。

当科の診療のモットーは、「安全で質の高い医療を提供し、患者さんに笑顔」です。特に、エコーやCTを用いた患者さんへの負担の少ない検査から冠動脈疾患、不整脈、弁膜症に対する先進的な医療まで、それぞれの専門医が丁寧に対応します。特に、心筋梗塞や心不全など命にかかわる急病にはヘリコプター搬送を含めた24時間対応できる体制が整っています。





気になる!

# 加齢黄斑変性の検査と治療について

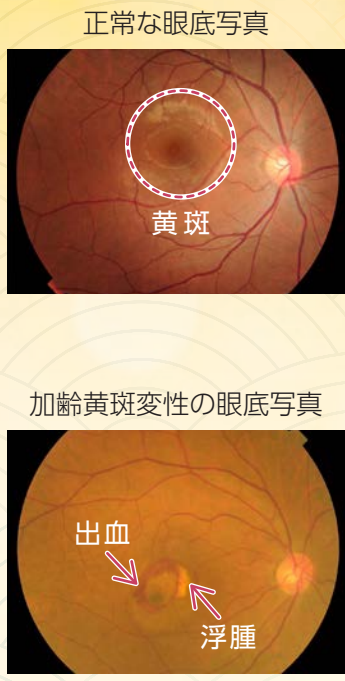
川崎医科大学附属病院  
眼科 医長 鎌尾 浩行

## 加齢黄斑変性の検査

必要な検査として、眼の内側にある網膜の状態を検査するために、ひとみ(瞳孔)を広げる散瞳薬を用います。この目薬を使い瞳孔が広がると、「まぶしく感じたり」「手元がぼやけたり」して見えにくくなります。このため車などの運転が危険になるので、公共の交通機関を利用するか、どなたかに送迎してもらい受診してください。

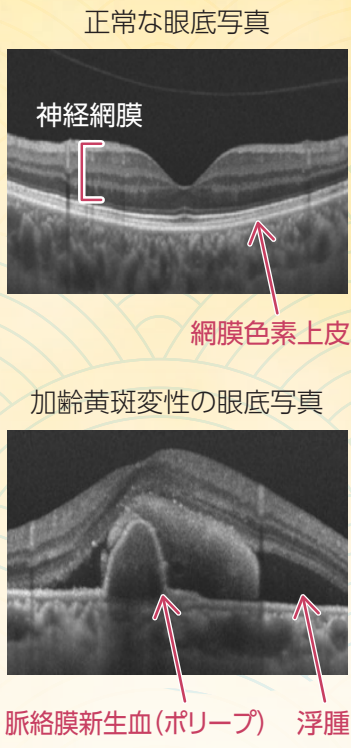
### 眼底検査

網膜や視神経の状態を確認することができ、出血や浮腫の有無を確認することができます。



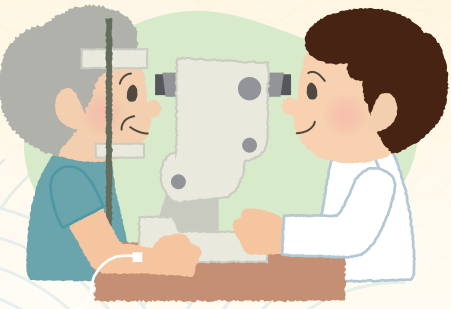
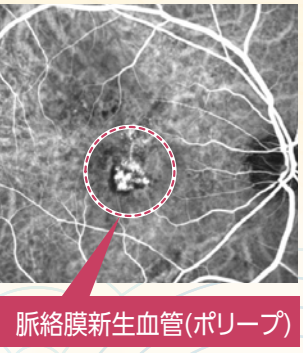
### 光干渉断層像(OCCT)検査

近赤外線を用いて網膜の断面を映像化することができる超音波検査に似た検査です。この検査では顕微鏡で調べたように詳しく網膜の状態を確認することができ、厚さ150〜300μmほどの網膜のどの位置に出血や浮腫、脈絡膜新生血管があるかも把握することができます。



### 蛍光眼底造影検査

蛍光色素の造影剤を点滴から投与した後に眼底の写真を撮影します。この検査では眼底の血管の状態や血流の状態、異常血管の有無、血液成分が漏れている場所などを把握することができます。滲出型加齢黄斑変性の場合は、脈絡膜新生血管の有無や位置、大きさを確認することができます。萎縮型加齢黄斑変性の場合、機能が低下した網膜色素上皮の位置や大きさを確認することができます。



## 治療方法と種類

### 網膜光凝固術

強いエネルギーのレーザーで脈絡膜新生血管を焼くことで治療を行います。ただし、レーザー治療を行った場所は網膜も破壊されてしまうため、その場所は見えなくなりますが、このため、脈絡膜新生血管が黄斑にある場合は使用しません。

### 光線力学的療法(PDT)

光に反応する薬(光感受性物質)を点滴から投与した後に、脈絡膜新生血管にレーザーを当てることによって治療を行います。この光に反応する薬は、異常な血管に付きやすい性質があり、またレーザーが当たると薬が反応し脈絡膜新生血管を破壊します。一方で、使用するレーザーは弱いエネルギーのため、レーザー治療を行った場所の網膜への影響はほとんどありません。

### 抗血管内皮増殖因子(VEGF)治療

VEGFは「新しい血管を作ったり」「血管の外に血液成分を漏れやすくしたり」するはたらきを持つタンパク質です。このタンパク質が脈絡膜新生血管の発生に大きく関与していることが分かっており、このタンパク質のはたらきを抑える薬がVEGF阻害薬になります。複数回の治療が必要になりますが、この薬の登場により視力の予後が飛躍的に良好になり、最近では第一に用いられるようになった治療方法です。

ただし、これらは脈絡膜新生血管を抑える治療方法で、神経網膜を良くするような治療方法ではないため、出血や浮腫により傷んでしまった神経は元に戻りません。このため、神経の痛みが少ない初期の段階で治療を受けることが、良い視力を保つ上で一番重要になってきますので、日頃のセルフチェックが重要になります。

## 日常生活でできる予防

### 危険因子

強い光(太陽光など)の曝露、喫煙、高脂肪食、肥満、高血圧

・外出時の帽子、サングラスの使用



・禁煙



・栄養バランスの取れた食事



・予防効果のある栄養成分を食事やサプリメントから摂取  
ルテイン、抗酸化ビタミン(ビタミンC・E)、亜鉛、銅など



・適度な運動



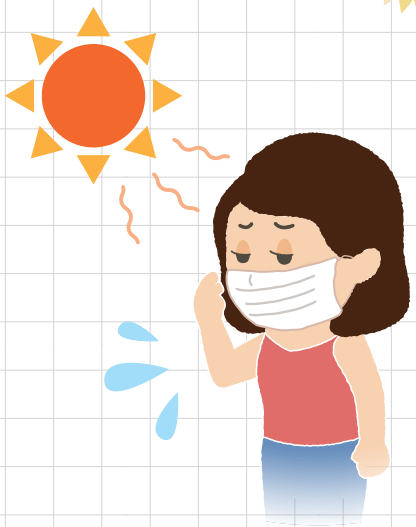
・血圧のコントロール



## ～新型コロナウイルス感染症の夏～ マスクの使い方

新型コロナウイルスの感染対策としてマスクを日常的に着用されていると思いますが、夏にマスクを使用する上で気を付けていただきたいことがあります。

ひとつは暑い時期にマスクを使用することでマスクの中が蒸れ、汗をかき、その不快感からつい手で拭うようなことをしてしまいがちだということです。この時、手についたウイルスを口や鼻の周りに塗り付けて感染のリスクとなっているかもしれません。不用意に顔に触らず、きれいな手で触ることが大切です。



また、マスクの中に熱がこもり体温調整が難しくなることやのどの渇きを感じにくくなることで熱中症のリスクが高まります。のどが渇いていなくても意識的に水分を補給することが大切です。運動時にマスクをつけることで酸素不足になる恐れもあります。周りに人がいなければ適宜マスクを外して休憩することも大切です。屋外で2m以内に人がいなければマスクを外してもよいでしょう。

まだしばらく新型コロナウイルス感染症に注意した生活が続きます。コロナ疲れを出さず、夏を乗り切りましょう。

Social Distance



- ・マスクによって発生した汗をぬぐうときの感染リスクを意識しましょう
- ・水分・塩分補給など例年以上に熱中症対策に気を付けましょう



## 連携医療機関のご案内

・小児科  
・耳鼻咽喉科

## もり小児科・耳鼻咽喉科クリニック

もり小児科・耳鼻咽喉科クリニックは、平成30年6月11日に開院いたしました。開業当初から、地域住民の方々、地域の子供たちなど、たくさんの方々に受診していただきました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

小児科と耳鼻咽喉科のクリニックですので、0歳の乳幼児から98歳の方まで幅広く受診されています。そのため、待合中央に移動式の仕切りを作り、後方にキッズルームを作りました。ご両親と一緒にいる子供用のトイレも完備しました。授乳室も設置しています。アレルギー性鼻炎の予防治療のアルゴンプラズマレーザーを導入しました。ご自宅で睡眠時無呼吸の簡易検査も可能です。溶連菌・アデノウイルス、インフルエンザウイルスなどの感染症を院内で迅速に診断できます。ベッドも4つあり点滴可能です。これからは「かかって良かった」と思っていただけのクリニックを目指し、職員 同より一層精進してまいります。

所在地  
〒701-0114  
岡山県倉敷市松島1100-1 2階  
お問合わせ  
TEL 086-463-3387  
FAX 086-463-5200



森 幸威 先生

HP  
<https://www.mori-mimi-hana-kodomo.com>

休診日  
日曜日、祝日、水曜・土曜午後

| 受付時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00-11:45  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ★ |
| 14:30-17:45 | ○ | ○ | - | ○ | ○ | - |

★ … 9:00-12:45



## 次号予告

## Main COVID-19(新型コロナウイルス感染症)

- ・診療科紹介 小児外科
- ・COVID-19を予防するためには
- ・病院の疑問解消! あれこれ
- ・連携医療機関のご案内
- ・イベントのご案内
- ・次号予告

掲載内容は予告無く変更される場合があります。ご了承ください。

